

# まんが甲子園へ一丸

## 盛岡・杜陵高定時制の5人

盛岡・杜陵高定時制(三田正巳校長、生徒99人)美術・イラスト部の5人は、5日から高知市で開催される第32回全国高校漫画選手権大会(まんが甲子園)本選に出場する。昨年に続き、2年連続で予選を突破。強みの豊かな表現力とチームワークを最大限に発揮し、入賞を目指す。佐藤雛歌さん(3年)、立沢知季さん(2年)と1年の藤原心珠さん、門脇和音さん、鎌田えりかさんが出場する。昨年も挑戦した佐藤さんは「前回は3人で出場して人手が足りず、細部までこだわることができなくて悔しかった」とリベンジに燃える。

本選は210校による予選を突破した21道府県、韓国、シンガポールの33校が出場。「新ルール」「スキル」など事前に表示された五つのテーマのうち、一つが試合当日に発表され、5時間半でB2用紙1枚に自由なテーマで制作する。2試合行い、最優秀賞など入賞作品が決まる。

6月に示された5テーマ全てに沿った原画を佐藤さんが約1カ月で仕上げた。対象物を想像し、目線の動きを意識。予選で

## 高きよから 表現力強み 入賞狙う



まんが甲子園の本選に出場する(左から)藤原心珠さん、佐藤雛歌さん、門脇和音さん、立沢知季さん。鎌田えりかさんと5人で入賞を目指す

はテーマ「ナゾ」に対し、壁に「張り紙禁止」と書かれた張り紙が何枚も張られているという矛盾から生まれる謎を表現し、評価を得ている。

5人の仲の良さも強みとなりそうだ。本番を想定し、誰がどの部分を描くかといった役割分担もばっちり。藤原さんは「初参加なので大会の雰囲気が分からず怖い面もあるが、楽しみ」と準備に励む。

顧問の金井保憲講師(71)は「個性的でチームワークが良いので、それぞれの役割を果たすだろう。試合を楽しんでほしい」と期待する。

(菊池美帆)

※ 岩手日報 2023年8月5日(土)付 この記事は岩手日報社の許諾を得て転載しています。

